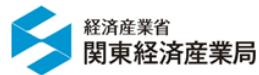


News Release



令和 7 年 12 月 18 日

農林水産省、独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部 同時発表

大手企業のニーズと中小企業等の挑戦が未来をつくる！「農林水産・食品分野オーブンイノベーション・チャレンジピッチ」を開催します

経済産業省関東経済産業局、農林水産省及び独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部は、令和 8 年 1 月 20 日（火曜日）に「農林水産・食品分野オーブンイノベーション・チャレンジピッチ」を開催します。本イベントは、食の安全・安心、食品ロスの削減、物流の最適化、資源循環など、農林水産・食品分野が直面する複合的な社会課題を解決するため、大手企業の研究開発ニーズと中小企業・スタートアップの技術やアイデアを結びつけ、新たな事業創出を目指します。

1. 背景・趣旨

農林水産・食品分野には、消費者の安全・安心志向の高まり、食品ロスの削減、物流の最適化、資源循環など、持続可能な社会の実現に向けた課題が山積しています。こうした課題は一社単独では解決が難しく、異分野の技術や発想を融合するオープンイノベーションが不可欠です。

『オーブンイノベーション・チャレンジピッチ』では、大手企業が農林水産・食品分野における課題解決に向けた各社の研究開発ニーズを発表し、オンライン共創プラットフォーム『OIMS』上で地域の中小企業やスタートアップからの革新的な提案を募集します。

昨年度は 6 社が登壇し 21 件の連携ニーズを発信した結果、185 件のシーズ提案があり、32 件の商談が成立するなど、実績ある取組です。農林水産・食品分野の大手企業にとっては異分野も含めた連携パートナーとの協業のきっかけに、地域企業にとっては社会課題解決に貢献しながら新たなビジネスチャンスを得る絶好の機会です。



2. 開催概要

日時: 令和 8 年 1 月 20 日（火曜日）15 時 00 分から 17 時 00 分まで

開催方法:現地及びオンライン(Microsoft Teams)

開催場所:Tokyo Innovation Base 1F SQUARE-1

東京都千代田区丸の内 3-8-3(<https://tib.metro.tokyo.lg.jp#access>)



共催:経済産業省関東経済産業局、農林水産省

開催協力:独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部

対象:どなたでもご参加いただけます(企業、自治体、支援機関、地域金融機関、研究機関等)

3. 参加方法

申込方法:以下 URL(または QR コード)よりお申し込みください。

申込期限:令和 8 年 1 月 19 日(月曜日)12 時 00 分

URL:

https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/kanto01/food_oip_entry_r7



4. プログラム

- ①開会挨拶
- ②オープンイノベーション・マッチングスクエアの紹介
- ③大手企業によるニーズ発表
- ④閉会挨拶
- ⑤ネットワーキング(現地のみ)

5. ピッチ登壇企業(五十音順) ※内容が変更となる場合がございます。

登壇企業	発表予定テーマ・発表者・キーワード
キューピー株式会社	「カット野菜の非破壊検査と、検査情報の活用による高品質カット野菜の提供」 研究開発本部 食創造研究所 野菜価値創造部 野菜・惣菜研究チーム チームリーダー 吉田 佳弘氏 キーワード:鮮度検出、虫の自動検出、近赤外分光、検査情報連動型栽培技術、スマート農業
TOPPAN 株式会社	「農産物の地域流通モデルの拡大に向けた共創パートナー探索」 情報コミュニケーション事業本部 ソーシャルビジネスセンター 永野 武史氏 キーワード:産直流通、物流効率化、地域内・地域間流通、鮮度管理、フードロス削減
日油株式会社	「国産作物などの未利用部分または残渣を活用した高機

	<p>能食品素材の協創」 食品研究所 所長 豆田 祐二氏 キーワード:国産作物、未利用部分、残渣、アップサイクル、高機能食品素材、健康食品素材、食品改質材、協創パートナー</p>
三菱ケミカル株式会社	<p>「コーティング技術を通じた食料の安全供給と品質保持に貢献するためのパートナー探索」 アドバンストソリューションズビジネスグループ 技術戦略本部 ウエルネス技術部 フード&ヘルスケアグループ グループ長 松浦 傳史氏 キーワード:フードロス削減、品質維持、日持向上、可食コーティング、被膜化技術、装置開発、噴霧装置、加工食品の製造ライン設計、農業分野の実証試験、用途探索</p>
株式会社吉野家ホールディングス	<p>「吉野家 HD が取り組む食の探求と挑戦、そして共創」 グループ商品本部 素材開発部 主席研究員 黒川 真行氏 キーワード:ダチョウ飼育、繁殖、ケラチン、コラーゲン、和朝食、玄米スプラウト</p>
レンゴー株式会社	<p>「球状セルロース粒子【ビスコパール】を用いた農業・水産業での連携パートナー」 化学品・セルロース商品開発本部 副本部長 杉山 公寿氏 キーワード:セルロース、生分解、植物生育評価、陸上養殖、微生物担体、複合資材、バイオステイミュラント、用途探索、企業連携</p>

6. 参考情報

経済産業省関東経済産業局、農林水産省及び独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部のオープンイノベーションの取組について

◆「オープンイノベーション・マッチングスクエア(OIMS)」について

経済産業省関東経済産業局及び独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部では、オープンイノベーションを通じた新たな価値創出のため、共同開発・協業ニーズを発信する共創サイト OIMS を運営しています。

<https://jgoodtech2.smrj.go.jp/tp/oi-matchingsquare>(ジェグテックサイトへ)



◆『「知」の集積と活用の場』について

農林水産省は、農林水産業・食品産業分野に異分野の知識・技術・アイデアを導入し、产学連携でのオープンイノベーションを目指す取組『「知」の集積と活用の場』を推

進しています。

<https://www.knowledge.maff.go.jp/>(産学官連携協議会サイトへ)



◆「ジェグテック」について

ジェグテックは、日本の中小企業と国内大手企業・海外企業をつなぐビジネスマッチングサイトです。独立行政法人中小企業基盤整備機構が運営しており、国内外の企業へ情報を発信し、最適なビジネスパートナーを見つけ、製品開発や新規取引に結びつけられるように登録企業を支援しています。

<https://jgoodtech.smrj.go.jp/pub/ja/>(中小機構サイトへ)



本イベント「農林水産・食品分野オープンイノベーション・チャレンジピッチ」は、経済産業省関東経済産業局、農林水産省、独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部が連携し、上記のオープンイノベーションの取組を結集して実施するものです。

本イベントのニーズに対して中小企業等がシーズを提案される際には、ジェグテックへの登録が必要となります。

<https://jgoodtech.smrj.go.jp/pub/ja/deal/enterprise/>(ジェグテック登録のページ)



(本発表資料のお問合せ先)

経済産業省関東経済産業局 地域経済部
産業技術革新課長 濱口 慎吾
担当者:大西、谷内、池谷
電話:048-600-0236(直通)
E-MAIL:bzl-kanto-oi@meti.go.jp

独立行政法人中小企業基盤整備機構
関東本部 企業支援部 支援推進課
参事 橋本 亜希子
担当者:濱田
電話:03-5470-1638(直通)
E-MAIL:kanto-hanro@smrj.go.jp

農林水産省

農林水産技術会議事務局 研究推進課
産学連携室長 今西 直人
担当者:西村、菅、定光
電話:03-6744-7044(直通)
E-MAIL:fkii@maff.go.jp